

多面的機能の維持・発揮活動

【コミュニティ部門】

ふもとの里を守る会（いなべ市）

小さな力を集めて・・・地域を守ります

活動の状況（協定農用地面積A=8.6ha）

私たちの組織は、この制度が発足した平成19年に結成しました。農地は組織名のとおり山里に存在し、小さな区画に大きな畦が多く耕作には効率の悪い所ばかりです。この地域は通称「屋敷田」と呼んでいて、農地が集落内の住宅に隣接しています。年に3～4回の一斉活動では畦草刈りや用水路・農道・ため池などの施設管理を行っていますが、毎日眺めている農地を荒廃させてはいけなと住民の連帯意識が強く農地所有者の80%が参加しています。関係者以外にも地域を好きになってもらおうと、休耕田を利用したコスモス園、空き地でのアジサイ園を結成当時から継続して手がけています。

また地域がまとまり大きな力を作ろうと、平成19年から毎年12月に住民総出の「餅つき交流会」を開催しています。おでんやとろろ汁の振る舞い、しめ縄作りや子供会クリスマスパーティー、福引きなど年々催しも増えていき、今では集落内住民360人のうち200人以上が参加してもらえるイベントになりました。さらに平成22年から集落に隣接する小学校と協同して、5年生を対象とした「田植え」「稲刈り」の体験教室に取り組んでいます。収穫したお米や藁で餅つきやしめ縄作りを行い、参加した子供からお礼の手紙をもらうなど大変喜ばれるなど地域と農業と子どもを繋ぐ一つのきっかけになっています。

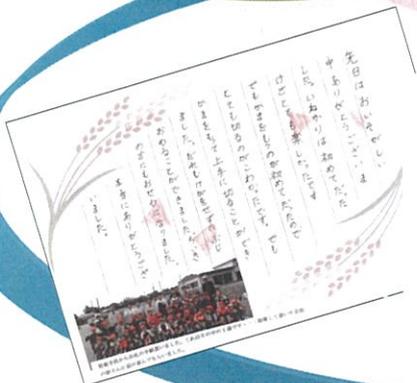
農地維持



地域参加



ふもとの里を守る会 取り組み



学校との つながり